

8月のイベント情報

野菜でつくろう

夏野菜の、ナス・スイカ・とうもろこしなどで人形や動物、虫を作り、涼しさを呼ぼう！

開催日時 8月3日(日) 午前10時から12時頃まで
定員 30名
開催場所 森林科学館
講師 柴山裕子(自然観察指導員)
入館料 大人400円、小中学生200円

昆虫とあそぼう！

カナブンやイモムシの歩き方や陸生昆虫の泳ぎ方など、昆虫の体の仕組みや特徴を、分かりやすく実験します。

開催日時 8月10日(日)
午後1時30分から3時30分まで
定員 40名
開催場所 森林科学館
講師 高家博成(多摩動物公園昆虫園)
入館料 大人400円、小中学生200円

棚田にソバをまきましょう

棚田にソバをまいてみましょう。

開催日時 8月24日(日) 午前10時から12時まで
定員 20名
開催場所 日野春農村公園棚田 ※雨天中止

小枝で作る！虫の工作

強そうなカブトムシ、カッコいいクワガタムシを小枝で作ってみましょう！

開催日時 8月16日(土) 午前10時から12時まで
24日(日) 午後1時から3時まで
講師 田中 旻
定員 20名
開催場所・入館料は「森の工作教室」と同じ。材料費は無料。

お問い合わせ・お申し込みは

〒408-0022
山梨県北巨摩郡長坂町塚川2812番地
長坂町オオムラサキセンター
TEL&FAX 0551-32-6648
URL <http://www.yatsui.gr.jp/ngs/oomurasaki/index.html>

連続講座 オオムラサキ博士になろう 第2回 「産卵とふ化」

卵から幼虫に、ミクロの視点に合わせて、小さな命を守る生物界の知恵を学びます。

開催日時 8月9日(土)
午前10時から11時30分まで
定員 30名
開催場所 「びばりうむ 長坂」
協力 自然とオオムラサキに親しむ会
持ち物等 鉛筆・メモ・虫メガネ(ある方は)・雨具
※3回以上ご出席の方には最終日に修了証をお渡しします。また、修了した方には特典として「オオムラサキ通信」を平成16年4月より1年間無料で郵送します。

標本作り教室

カブトムシやクワガタムシなどの昆虫をつくろう！

開催日時 8月17日(日)・23日(土)
午前9時30分から12時まで
定員 各日20名
開催場所 森林科学館
持ち物等 昆虫(甲虫)・筆記用具・はさみ・作業のできる服装
入館料 大人400円、小中学生200円

夏休み工作教室

★本立て・CDラック・状差しなどを作ってみよう！

8月10日(日)・31日(日)

午前10時から12時まで

★糸のこで楽しもう！風に揺れる木のオブジェやモビールなど。

8月23日(土) 午後1時から3時まで

講師 田中 旻
定員 各日20名
開催場所 森林科学館

※ 入館料と材料費(実費)が必要です。
※ 所要時間はそれぞれ最低1時間です。

編集後記：5月に新しくやってきた「アイガモ」4羽は、時々田んぼの外を自主散歩しながら、すくすく育っています。水車小屋の側の田んぼにいますので、ぜひ会いにきてください。 伊藤麻実

オオムラサキ通信

NO. 63

発行：平成15年7月30日

編集：長坂町オオムラサキセンター

オオムラサキ博士になろう！

このコーナーでは、身近な自然のことや知っているようで知らない昆虫のことなどを紹介していきます。

昼間に活動するクワガタ

子供たちの夏休みの楽しみの一つは、カブトムシやクワガタを見つけに山にでかけることです。夏休みに入ってから、長坂町や明野村の雑木林では、捕虫網を片手に子供を連れて歩くお父さん達をよく見かけます。お父さん、お子さん達を喜ばすことはできましたか(笑)？

長坂町や明野村の人里付近でごく普通に見かけるクワガタはノコギリクワガタ、コクワガタ、やや標高の高いところではミヤマクワガタ、アカアシクワガタです。中でも子供達に人気なのは、ミヤマクワガタであるようです。大きくて、ちょっと変わった形の大あごを持っていることが人気の理由でしょうか。

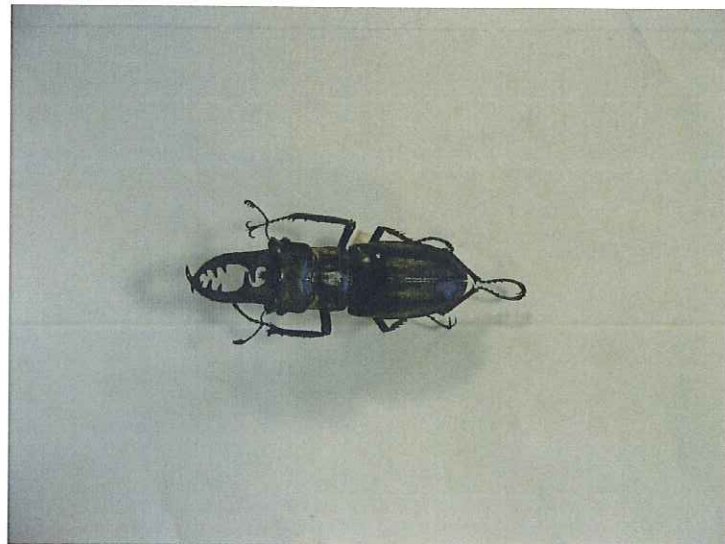
クワガタというと、多くの人は、カブトムシと同様に夜活動する昆虫というイメージをお持ちのようです。確かに、カブトムシやノコギリクワガタはお日様が沈む午後六時頃から活動を始め、夜に街灯にも飛んで来ます。ところが、ミヤマクワガタは山梨県を含む関東地方では、昼間に活動することが判ってきました。

ミヤマクワガタは、夜間は木の上や根元の落葉の下で休み、夜が明けて朝八時から九時近くになると、大好物であるクヌギやコナラの樹液に向かって動きはじめます。樹液は雌との出会いの場所でもあります。樹液に集まったオス達は、樹液とメスを奪い合って激しい争いをくりひろげます。特に体長七センチを超えるオスは、大アゴも立派で見ごたえがあり、子供達が憧れるのもうなずけます。やがて夕方になると、オスもメスも木の上の方へ登り始めます。あるいは木を降りて、落葉の下に潜り込んだり、どこかへ飛んでいくものもいます。

なぜミヤマクワガタは、昼間に活動するのでしょうか？様々な理由が考えられますが、その一つは、ライバルとの喧嘩を避けることです。夜の樹液には力の強いカブトムシやノコギリクワガタがいて、なかなかエサにありつけないのです。ところが、昼間はカブトムシやノコギリクワガタは木の根元などで眠っていて樹液にはいません。ライバルのいない昼間に活動するようになった、と考えられています。

さて、ここまでお話しすれば、どうすればミヤマクワガタに出会えるのか、おわかりになったのでしょうか？まず、昼間に雑木林でクヌギやコナラの樹液を見て回ることです。そして、夕方や早朝、樹液のところで見つからない時には、その木を蹴飛ばしてみましょう。樹上で眠っていたミヤマクワガタが落ちてくるはずです。それでも見つからない時は、木の根元の落葉をどけてみましょう。大きなオスが見つかれば、子供たちには最高の夏休みとなることでしょう。

(自然とオオムラサキに親しむ会 小林隆人)



ミヤマクワガタ（オス）

生態観察施設「びばりうむ 長坂」では、オオムラサキの羽化がピークを迎えています。鮮やかな青紫の羽の成虫が、あちこちで餌台のパイナップルに集まったり、樹液を吸ったりしています。

その一方で、まだ幼虫の姿のものもあります。

下の写真のエノキでは、成虫・サナギ・幼虫を一本の枝で観察することができました。



「びばりうむ 長坂」で。

虫の本棚

中原中也 「一つのメルヘン」

夏の訪れを告げるオオムラサキの飛翔もそろそろ雌の産卵をもって終わろうとしています。今回は中原中也の詩をご紹介します。ソネット形式という短い詩です。

秋の夜は、はるかの彼方(かなた)に、
小石ばかりの、河原があって、
それに陽は、さらさらと
さらさらと射してゐるのであります。
(省略)

前半部分では、陽が水の流れのような優しい動きを感じさせますが、後半、蝶の登場によって突然この動きが静止します。

さて小石の上に、今しも一つの蝶がとまり、
淡い、それでゐてくつきりとした
影を落としてゐるのでした。
やがてその蝶が見えなくなると、いつのまにか、
今迄流れてもゐなかった川床に、水は
さらさらと、さらさらと流れてゐるのであります……

さてこの蝶はどこへ行ってしまったのでしょうか？

この詩は死に近づいた作者の最晩年に完成されたもので、舞台は故郷山口市の吉敷川、「水無川」の異名を持つといひます。

「一つのメルヘン」は中也の詩集『在りし日の歌』にあり、たいいていの中原中也詩集で読むことができます。角川文庫、岩波文庫など、さまざまな種類が刊行されています。

参考：『新編中原中也全集 第一巻 詩I』 角川書店 平成12年発行

(オオムラサキセンター 荒畑ふさ枝)

幼虫、サナギの不思議に迫る観察会

7月12日(土) 午前10時～11時30分まで、「びばりうむ 長坂」で「オオムラサキ博士になろう! 第1回 サナギから成虫へ」が開催されました。講師の朝日竹夫さん(自然とオオムラサキに親しむ会)の説明を聞き、オスの成虫が舞う中、まだ幼虫やサナギの姿をしているものを探しました。はじめは見つけることができなかった子供たちも、1つ見つけると次々に目につくようになり、「いた、いた!」と声をあげ、夢中で探していました。

魔法の道具: ルーペで幼虫を見て、気門を見つけた親子連れの方は、「すごい!」と目を輝かせ、親子で生き物の不思議に魅せられたようでした。



オオムラサキ博士になろう! の観察会は、シリーズで第5回まであります。各回のみでもお楽しみいただけますのでぜひご参加ください。

昆虫酒場をのぞいてみたら・・・?

7月26日(土) 午後4時～8時30分まで、「昆虫酒場をのぞいてみよう」が開催されました。当日は、35名の方が集まり、講師である「国蝶オオムラサキを守る会」のメンバーと一緒に、オオムラサキ自然公園内の樹液が出る木などを中心に昆虫を観察しました。公園内のクヌギの木では、カブトムシやオオムラサキを観察することができました。夜の観察では、小雨が降りだしたため予定よりも早めに終了しましたが、公園内で平家ホテルを見ることができ、思いがけないホテルとの出会いに雨が降っているのも忘れて見入っている人もいました。

作品募集!

「第5回 身近な自然のお便利コンクール」の作品を募集しています。たくさんの応募を待っています!

募集期間: 9月20日(火) 当日消印有効

応募先: 長坂町オオムラサキセンター

「身近な自然のお便利コンクール」
作品募集係り まで



樹液の出る木は、昆虫たちのレストラン。

望月悠加 切り紙の世界 ～私の大好きな虫たち～

望月悠加さんは、生き物が大好きな高校1年生です。小さい頃から昆虫が大好きで、その情熱的な観察は、色紙をまたたくまに様々な昆虫に変えていきます。今回は、昨年日本昆虫協会の全国昆虫研究大賞を受賞した「Lovely! カマキリの赤ちゃん」をはじめとして、チョウやセミ、カゲロウ、動物、恐竜まで、望月さんの切り紙の魅力をたっぷり楽しめます。
開催期間: 7月1日(火)～8月31日(日)
開催場所: 長坂町森林科学館

世界の蝶の工芸品展

世界各地の蝶をデザインした食器、装飾品、オモチャ、凧など、人と蝶との共演作品をズラリ展示します。

開催期間: 8月1日(金)～9月30日(火)

開催場所: 長坂町森林科学館

協力: 井上文雄(須高ゆずむしの会 会長)

作品点数: 約1,400点

お知らせ

夏休み期間中(7月20日～8月31日まで)は、毎日開館します。